

2019 年度実施概要

学校名

与論町立 与論中学校

採択活動名

与論島の魅力 再発見～海に囲まれた島の過去・現在そして未来へ～

取り組みの概要

1 海洋教育の実際

与論中学校では、総合的な学習の時間を中心に、周囲を海に囲まれた与論島ならではの産業や伝統芸能、ユニフットパ学習、海に親しむ活動に取り組んできた。今年度は海洋教育推進の一年目にあたるため、これまでの教育活動を海洋教育の視点から洗い出し、目的等を再構築する作業を中心に進めてきた。

2 取組内容**(1) 船倉海岸付近での清掃作業**

宿泊学習において、船倉海岸付近にて清掃作業を実施した。潮の流れ等によって、漂着ごみの割合や種類が異なること等を講師の原田誠一郎さんに指導いただいた。意識してごみを拾うと想像以上に小さいプラスチックごみがあることに気付いた生徒が多数いた。

**(2) サンゴを守るための取組**

1年生を対象に、再生ネットワーク与論の池田香奈さんを講師にお招きして、サンゴ礁の保全についてお話をいただいた。与論島周辺のサンゴ礁はなくなることはないと考えている生徒もいたようであるが、世界的にも減少していることやその原因について学ぶことができた。

**(3) SUP・カヌー体験**

B&Gスタッフの皆さんに協力いただき、SUP・カヌーの体験活動を実施した。海で安全に活動するためには救命胴衣が必要なこと、マリンスーツを着用することなど安全面に配慮することでより楽しく活動ができることを学ぶことができた。また、マリンスポーツの多様性の一端に触れ、海への関心を高めることができる活動になった。

**3 次年度に向けた課題**

今年度実施した様々な海洋教育の活動を、与論町の海洋教育ランドデザインと関連付け、より効果的な教育課程編成をする必要がある。また海洋教育を効果的に進めていくためにも、地域の人材活用を積極的に推進していきたい。

実施単元名 ※実施した単元の数に応じて記載してください

1. 海を知る。	5. 未来を創る。
2. 先人に学ぶ。	
3. 伝統芸能・文化を知り、体験する。	
4. 現状を知る。	